

11月22日は「いい夫婦の日」－夫婦の会話量調査－

夫婦の会話、理想と現実を明らかに！夫婦間に温度差あり！？**97%が夫婦円満のために「会話」が必要と回答！一方…****40代、配偶者満足度27ポイントの差“夫は高く、妻は低い”****50代、一緒に過ごしたい気持ち21ポイントの差“夫は気持ちをキープ、妻は低下傾向”**

江崎グリコ株式会社は、11月22日「いい夫婦の日」を前に、既婚の男女1,000人を対象に夫婦の会話量に関する調査を行いました。その結果、夫婦円満のためには「会話」が必要で、会話量に満足している人は夫婦2人で過ごす時間にも満足していることが分かりました。しかし、夫婦が必要と考える会話時間より、実際の会話時間は短いことも浮かび上がりました。また、夫婦の会話にとって「お菓子」は、会話のきっかけとなり、会話が弾む効果があることも明らかになりました。なお、配偶者への満足度を男女別で見ると、夫婦間の温度差が浮き彫りになり、40代が最も低くなるものの、緩やかに回復基調が見られました。一緒に過ごしたい気持ちにも温度差があり、夫は気持ちをキープする一方、妻は低下傾向にあることが分かりました。

令和初の「いい夫婦の日」は、お菓子を食べながら夫婦2人の会話を楽しんではいかがでしょうか。

主な調査結果

[夫婦の会話量と夫婦仲]

97%が夫婦円満のために「会話」が必要と回答 十分な会話量が夫婦時間の満足につながる …P1**配偶者満足度“夫は高く、妻は低い” 40代夫婦間は27ポイント差。結婚20年以降は回復基調に …P1****“一緒に過ごしたい” 20代夫婦9割以上。50代夫婦間は21ポイント差。“夫は気持ちをキープ、妻は低下傾向” …P2****夫婦の会話は1日平均62.7分 「必要」と考える時間より毎日18分も足りない …P3****結婚5年未満夫婦の会話は83.9分、5年以上になると54.5分に減少、同居子ども有りはさらに減少 …P3****夫婦で実際に話す内容は「子どもの近況」。話したいのに話せていないのは「夫婦2人の将来」 …P4**

[夫婦の会話とお菓子]

お菓子は夫婦のコミュニケーションツール、「おやつタイム」が会話のきっかけになる76.6% …P5

[11月22日は、いい夫婦の日]

「いい夫婦の日」参加意向は8割。夫婦で参加する人は配偶者への満足度96%！ …P5

<調査概要>

■実施時期：2019年8月29日（木）～9月1日（日） ■調査手法：インターネット調査

■調査対象：全国の20代～60代の配偶者と同居し、配偶者との離婚意向のない男女1,000人（男女500人ずつ）

※構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社電通パブリックレーションズ 松崎

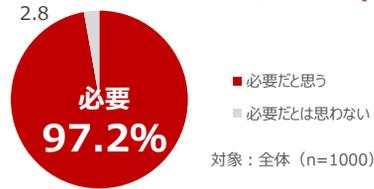
TEL：03-6263-9280 MAIL：chieko-matsusaki@dentsu-pr.co.jp

夫婦の会話量と夫婦の仲は比例する

■ 「会話」は夫婦円満の基本です 97%が「必要」と回答

夫婦円満のために夫婦での会話が必要かと聞くと、全体の97.2%が「必要だと思う」と答えています [図1]。夫婦が円満であるためには、夫婦間の会話が欠かせないと誰もが認めており、会話は夫婦間コミュニケーションの基本となっています。
「言葉にしなくても、雰囲気だけで言いたいことが分かる」というのはもう昔の話ですね。

【図1】 夫婦円満のために「会話」は必要 (Q4)



■ 会話量の満足度と夫婦時間の満足度は比例する！ 十分な会話量が夫婦時間の満足につながる

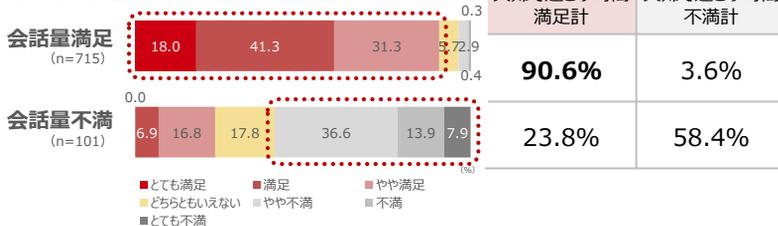
夫婦間の会話量について満足度を聞くと、全体の7割が「満足」(71.5%)と答えています [図2]。次に夫婦で過ごす時間の満足度を聞くと、こちらも73.2%が「満足」と答えています [図3]。しかし、夫婦で過ごす時間の満足度を会話量の満足度別に見ると、会話量に満足と答えた人は、夫婦で過ごす時間の満足度も90.6% (とても満足 + 満足 + やや満足) と高いのに対し、会話量が不満と答えた人は、夫婦で過ごす時間の満足度が23.8%と低く、6割近くが「不満」(58.4% とても不満 + 不満 + やや不満)と答えています [図4]。また、配偶者への総合的な満足度を聞くと、会話量に満足していると総合的な満足度は94.4%と高いのに対し、会話量に不満があると41.6%と低くなっています [図5]。

夫婦の会話時間の不足は夫婦で過ごす時間だけでなく、配偶者への総合的な満足度にも影響を与えてしまうようです。

【図2】 夫婦の会話量の満足度 (Q3-3)

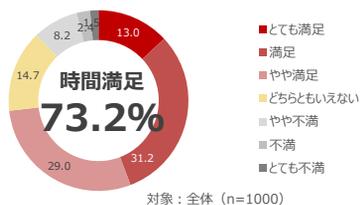


【図4】 夫婦で過ごす時間の満足度 (会話量の満足度別)

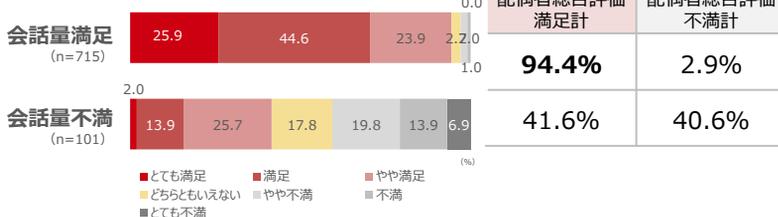


夫婦で過ごす時間	夫婦で過ごす時間
満足計	不満計
90.6%	3.6%
23.8%	58.4%

【図3】 夫婦で過ごす時間の満足度 (Q3-2)



【図5】 配偶者への総合的な満足度 (会話量の満足度別)

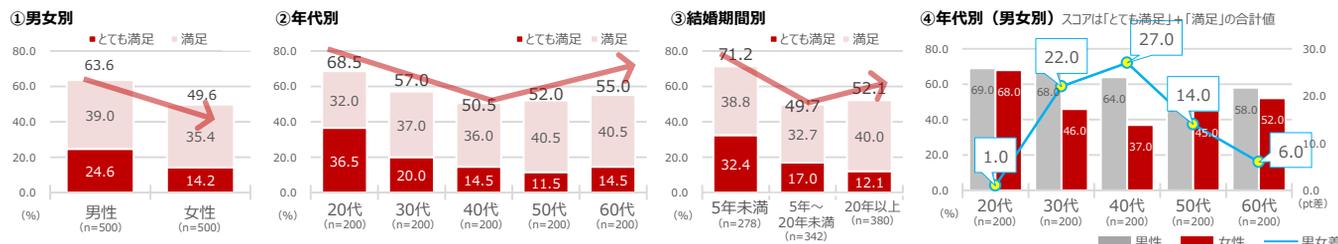


配偶者総合評価	配偶者総合評価
満足計	不満計
94.4%	2.9%
41.6%	40.6%

■ 配偶者への満足度は「夫は高く、妻は低い・・・」 結婚20年を超えると回復基調に

[図6] は配偶者への総合的な満足度を聞いた結果です。男女別で見ると、男性は24.6%が「とても満足」と答えているのに対し、女性は14.2%と低く、「満足」を加えると、男性63.6%：女性49.6%と夫婦間の温度差が浮き彫りになりました。この満足度 (とても満足 + 満足) を年代別に見ると40代 (50.5%) が、結婚期間別では「5年～20年未満」(49.7%) の満足度が最も低くなっています。また、配偶者への満足度の男女差が一番大きいのも40代 (男性64.0%、女性37.0% 27.0pt差) でした。しかし、その後はいずれも回復傾向を示していることから、40代は夫婦の曲がり角となっているようです。

【図6】 配偶者への総合的な満足度 (Q3-1)



夫婦関係は“夫高妻低”?!

■ 結婚期間が長くて子どもと同居している夫婦は、会話量の満足度が低下する傾向に

夫婦間の会話量の満足度について、結婚期間との関係を見ると、結婚期間が5年未満の場合、夫婦間の会話量に82.4%が満足と答えています。5年以上になると67.3%と15ポイントも低くなっています [図7-1]。子どもとの同居の有無で比べると、子どもと同居している人の夫婦間の会話量の満足度は66.7%、同居する子どもがいない夫婦2人暮らしでは78.6%となり、子どもと同居していない夫婦の方が会話量の満足度は高い、という結果になりました [図7-2]。

結婚期間が長くなったり、子どもがいたりすると、夫婦で向き合い会話をすることも少なくなってくるのかもしれませんが。会話量の不満は夫婦時間への不満につながります。夫婦関係が気になったら、まずは「会話すること」を意識してみるといいかもしれませんね。

【図7-1】夫婦の会話量の満足度 (結婚期間別) (Q3-3)



満足計	不満計
82.4	7.6
67.3	11.1

【図7-2】夫婦の会話量の満足度 (同居子どもの有無別) (Q3-3)



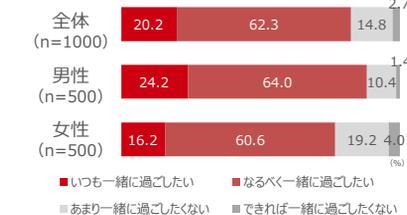
満足計	不満計
66.7	12.9
78.6	6.0

■ 一緒に過ごしたい気持ちは一緒？ 変わらない夫と下がりがちな妻

前述 [図6] の通り、配偶者の満足度は“夫が高く妻が低い”となっていました。普段の生活で夫婦で一緒にいたいかと聞くと、全体の82.5%が「一緒に過ごしたい」（いつも一緒に+なるべく一緒に）と答えており、夫婦円満ぶりがうかがえます。しかし男女別で見ると、夫88.2%：妻76.8%となり、ここでも温度差が見られました [図8-1]。

これを男女年代別に見ると、20代では男女ともに9割（男性92.0%、女性94.0%）が一緒に過ごしたいと答えており、男性はそれ以降も一緒に過ごしたい意向が高いままキープされているのに対し、女性は低下傾向を示し、50代では20ポイント（男性89.0%：女性68.0%）もの差が開いています [図8-2]。会話によってお互いの気持ちをしっかり理解し、夫婦円満な日々を続けていきたいですね。

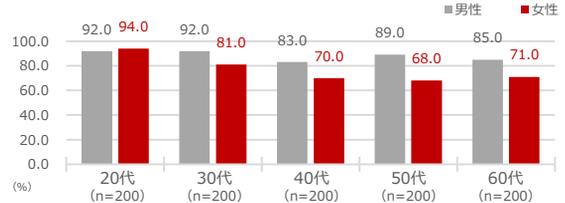
【図8-1】夫婦で一緒に過ごしたいか (Q2)



一緒に過ごしたい計	過ごしたくない計
82.5	17.5
88.2	11.8
76.8	23.2

【図8-2】夫婦で一緒に過ごしたいか (性年代別) (Q2)

スコアは「いつも一緒に過ごしたい」+「なるべく一緒に過ごしたい」の合計値 男女は年代別に各100人ずつ



夫婦の会話時間は1日平均1時間

■ 夫婦の会話時間は1日平均62.7分 「必要」と考える時間より18分/日も足りていない

■ 結婚期間が長い夫婦や、子どもと同居している夫婦は会話時間も短くなる傾向あり

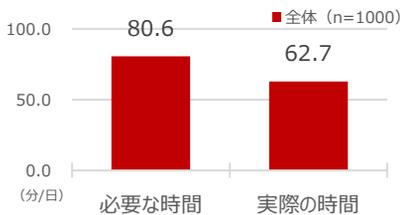
夫婦円満に欠かせない夫婦の会話ですが、1日何分ぐらい必要か聞くと、平均で80.6分となりました。実際にはどのくらい会話しているのか聞くと、平均で62.7分となり、必要と思う時間に18分も足りていないという結果になりました [図9-1]。

これを結婚期間別に見ると、結婚期間が5年未満の場合の会話量は1日平均83.9分となり、上記の必要な時間（80.6分）を満たしていますが、5年以上になると54.5分と30分も短くなっています [図9-2]。

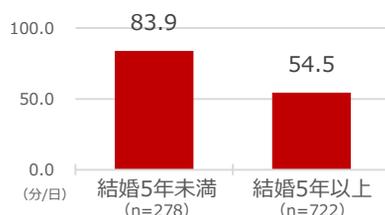
同居する子どもの有無で見ると、子どもと同居していない夫婦は83.9分と必要な時間を満たしていますが、子どもが同居する夫婦の会話時間は48.5分と35分も短くなっています [図9-3]。

前述 [図7] の通り、結婚5年以上の方や、同居する子どもがいる場合は、会話量の満足度がより低くなっていましたが、実際の会話時間も随分と短くなっていることが明らかになりました。

【図9-1】 夫婦の会話に必要な時間と実際の時間 (Q5-1 Q5-2)



【図9-2】 夫婦の実際の会話時間 (結婚期間別) (Q5-1 Q5-2)



【図9-3】 夫婦の実際の会話時間 (同居子どもの有無別) (Q5-1 Q5-2)



■ 会話の量が足りていると、夫婦時間の質的満足度も高い

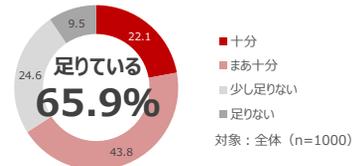
次に夫婦間の会話量について足りているかを聞くと、65.9%が「足りている」と答えています [図10-1]。

この意識別に夫婦2人で過ごす時間の満足度を見ると、足りていると答えた人は84.4%が2人の時間に「満足」しているのに対し、足りていないと答えた人の満足度は51.6%と低くなり、26.7%が「不満」と答えています [図10-2]。

会話量が足りないと感じることは、夫婦時間の満足度の低下につながるようで、十分な会話量をとることが夫婦時間の質の向上をもたらすようです。

「会話の量」は普段あまり考えるものではないのかもしれませんが、少し意識してみるのもいいかもしれません。

【図10-1】 夫婦の会話量は足りているか? (Q6)



【図10-2】 夫婦2人で過ごす時間の満足度 (会話量の十分・不十分別) (Q3-2)



夫婦の会話 話してる話題、話したい話題

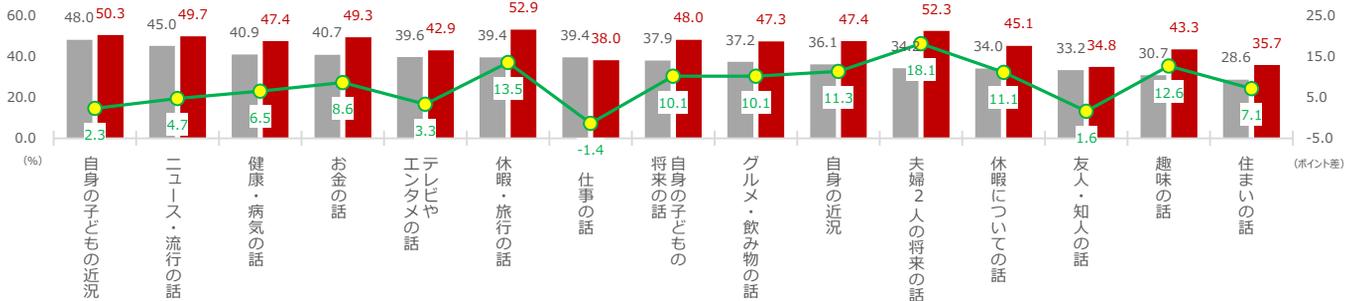
■ 話したいのに話せていないのは、実は自分たち「夫婦2人の将来」について

普段、夫婦で話す内容を聞くと「子どもの近況」(48.0%)、「ニュース・流行」(45.0%)、「健康・病気」(40.9%)が上位となりました〔図11〕。

次に夫婦で話したい内容を聞くと、「子どもの近況」(50.3%)より、「休暇・旅行」(52.9%)、「夫婦2人の将来」(52.3%)など自分たちのことを話したいと望んでいるようです〔図12〕。

普段の会話と話したい話題の差が大きい項目は、「夫婦2人の将来」、「休暇・旅行」、「趣味」となり〔図13〕、これらが話したいのに話せていない話題となります。

■ 普段の夫婦の話題と夫婦で話したい話題 (普段の会話順) (Q7-1 Q7-2)



【図11】 普段の夫婦の話題 (Q7-2)

自身の子どもの近況	48.0
ニュース・流行の話	45.0
健康・病気の話	40.9
お金の話	40.7
テレビやエンタメの話	39.6

【図12】 夫婦で話したい話題 (Q7-1)

休暇・旅行の話	52.9
夫婦2人の将来の話	52.3
自身の子どもの近況	50.3
ニュース・流行の話	49.7
お金の話	49.3

【図13】 夫婦で話したいけど話せていない話題 (Q7-1 Q7-2)

	普段から話す	夫婦で話したい	差分
夫婦2人の将来の話	34.2	52.3	18.1
休暇・旅行の話	39.4	52.9	13.5
趣味の話	30.7	43.3	12.6
自身の近況	36.1	47.4	11.3
休暇についての話	34.0	45.1	11.1

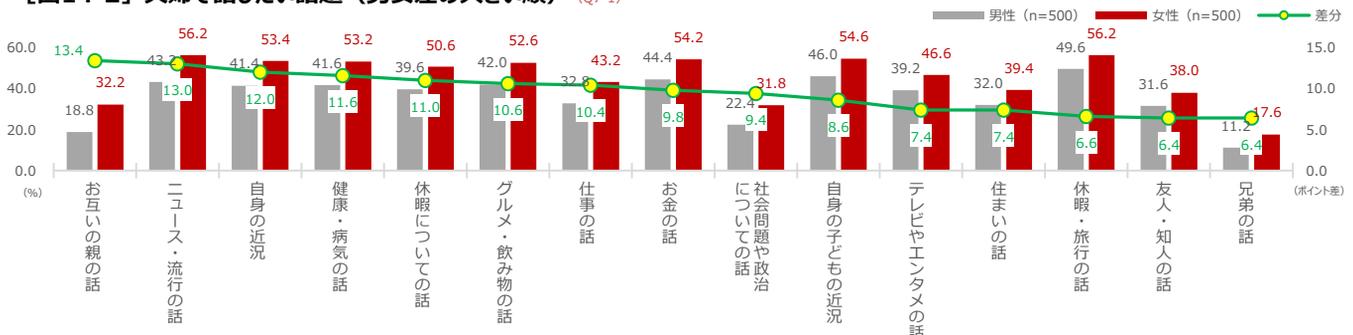
■ 夫婦で話したいことは「夫婦2人の将来」、「休暇・旅行」。妻は「ニュース・流行」の話も。

〔図12〕の夫婦で話したい内容を男女別に見ると、男性は「夫婦2人の将来の話」(50.0%)、「休暇・旅行の話」(49.6%)、「子どもの近況」(46.0%)の順で、女性は「ニュース・流行の話」「休暇・旅行の話」(同率56.2%)、「夫婦2人の将来の話」「自身の子どもの近況」(同率54.6%)となり、2人で話したい内容にも夫婦差が生じているようです〔図14-1〕。

そこで、夫婦で話したい内容の男女差の大きい項目を見ると、「お互いの親の話」(夫18.8%：妻32.2% 13.4pt差)、「ニュース・流行の話」(夫43.2%：妻56.2% 13.0pt差)、「自身の近況」(夫41.4%：妻53.4%12.0pt差)、「健康・病気の話」(夫41.6%：妻53.2 11.6pt差)、「休暇についての話」(夫39.6%：妻50.6% 11.0pt差)などが上位に上げられました〔図14-2〕。

夫婦関係の満足度は夫より妻の方が低い傾向が明らかになっていますが、妻が話したいと望んでいる話題を察してあげるのも、夫婦関係に良い影響をたらすかもしれません。

【図14-2】 夫婦で話したい話題 (男女差の大きい順) (Q7-1)



【図14-1】 夫婦で話したい話題 (Q7-1)

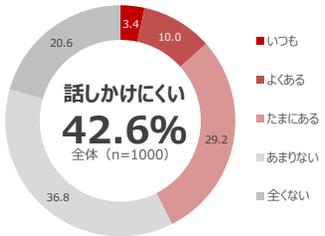
●男性 (n=500)	●女性 (n=500)
夫婦2人の将来の話	50.0
ニュース・流行の話	56.2
休暇・旅行の話	49.6
自身の子どもの近況	46.0
自身の子どもの将来の話	45.4
お金の話	44.4
休暇・旅行の話	56.2
夫婦2人の将来の話	54.6
自身の子どもの近況	54.6
お金の話	54.2

夫婦の会話が弾むお菓子の効用

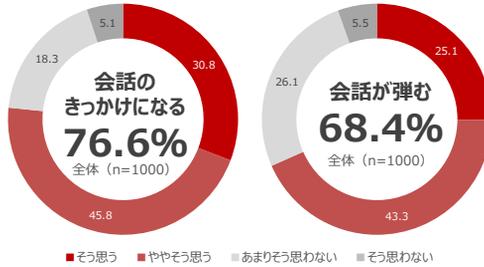
■ お菓子は夫婦のコミュニケーションツール、「おやつタイム」が会話のきっかけに

夫婦で会話をしたいとき配偶者に対して話しかけにくいと感じることがあるかと聞くと、42.6%が「話しかけにくいと感じることがある」と答えています【図15】。そこで、夫婦で会話をする際にお菓子などがあるとどうか聞くと、76.6%が「会話のきっかけになると思う」と答え、68.4%が「会話が弾むと思う」と答えています【図16】。また、生活のタイミング別に夫婦の会話量を聞くと、「食後」(46.8%)や「食事中」(44.8%)と並んで「おやつタイム」(44.3%)も夫婦の会話量が多いコミュニケーションタイムとなっているようです【図17】。夫婦にとってお菓子は、2人のコミュニケーションを円滑にする役割を担ってくれそうです。

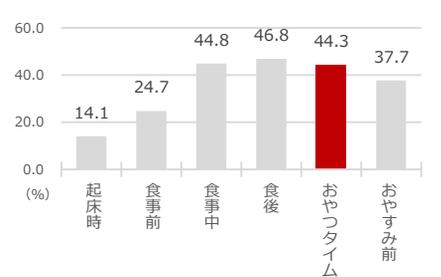
【図15】 配偶者に話しかけにくいと感じることがあるか？ (Q8)



【図16】 夫婦の会話にお菓子があるとどうなると思うか？ (Q10-1-2)



【図17】 タイミング別夫婦の会話量 (Q11)
対象：全体 (n=1000)



■ 11月22日は「いい夫婦の日」 夫婦で参加する人は配偶者への満足度96%！

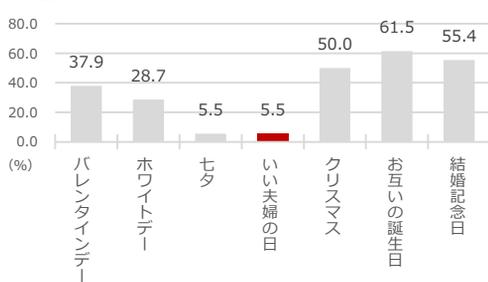
■ 「いい夫婦の日」参加意向は8割 お菓子を食べながら夫婦で話し合う。そんな時間も大切に

11月22日は「いい夫婦の日」です。この日に夫婦でイベントを行っているのは、わずか5.5%しかいませんでしたが【図18-1】、いい夫婦の日にイベントを行っている人は、配偶者への総合的な満足度は96.4%と全体平均（81.8%）よりもぐっと高く、夫婦でのイベント参加がまったくない人（59.7%）と比べると、一目瞭然の結果が出ています【図18-2】。

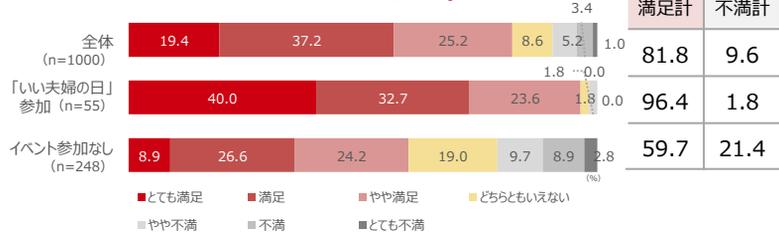
そこで、いい夫婦の日に夫婦で何かやりたいかと聞くと、8割（79.4%）の人が意向があり、「外食」（41.0%）に次いで、「家でまったり」（28.9%）したいという意見が多くなっています【図19】。

令和初の「いい夫婦の日」は金曜日です。お菓子を食べながら夫婦でゆっくり語り合い、楽しい記念日を過ごしてみたいかがでしょうか。

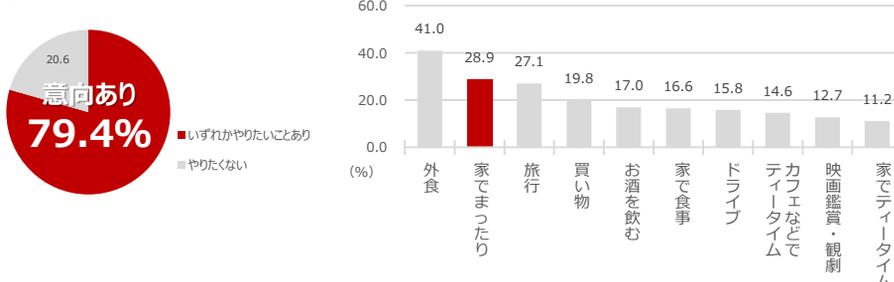
【図18-1】 夫婦一緒に行うイベント (Q16)
対象：全体 (n=1000)



【図18-2】 配偶者への総合的な満足度 (Q3-1)



【図19】 いい夫婦の日に夫婦でやりたいことはあるか？ (Q16)
対象：全体 (n=1000)





Pocky 午後の贅沢



濃厚なめらかなチョコとサクッと食感の大人贅沢なポッキー〈午後の贅沢〉。1袋2本入りの個包装タイプなので、コーヒーカップやティーカップの横に添えて、午後の贅沢なティータイムをお楽しみいただけます。

11月22日「いい夫婦の日」には、温かい飲み物とポッキー〈午後の贅沢〉で、慌ただしい日常から解放された、夫婦の素敵な会話を、贅沢なひと時を、楽しんではいかがでしょうか。



さっくり発酵バタービスケットに、濃厚なめらかなミルクチョコレートを厚くまとった〈チョコラ〉

※発酵バター0.9%使用（ビスケット部分）

※自家焙煎カカオマス4%使用

オープン価格



さっくり発酵バタービスケットに、濃厚なめらかな抹茶クリームを厚くまとった〈宇治抹茶〉

※発酵バター0.9%使用（ビスケット部分）

オープン価格